

Message



問題は全て自らの内部にある

株式会社日本レーザー 代表取締役社長 近藤 宣之

世界経済が複雑さを増し、その不確実性はいっそう高まっているかに見えます。先進国が不況に苦しむ一方、新興国はインフレに悩まされています。日本ではバブル崩壊から20年、デフレで、賃金も全く上昇していません。

国家も、企業も、労働組合組織も、ともすれば抱えている問題をグローバル化した経済の責にして、根本的な解決を図らずに課題解決を先延ばし、悲観的な空気や閉塞感が漂っています。

こうした人類社会の危機は絶えず繰り返されてきましたが、結局、淘汰された組織や集団があった反面、英知と勇気をもって変化に対応したものが生き残ってきています。

企業経営でも、労働組合活動でも、もっとも重要なことは、いつの時代も進取の精神であり、そのリーダーシップです。

問題の所在を自らの組織の外に求めると、経営者も労働組合も被害者意識を持ってしまいます。問題は自分自身の中にあると意識するからこそ、改革へのモチベーションも上がります。

労使が協力して、この世界市場での熾烈な戦いに挑み、意欲的に創造力を高め、新しい商品やサービスを開発しない限り、グローバルな競争に勝てない時代です。

新しい労使のリーダーには、このように問題は常に自分の組織の中にあると認識して、改革を進める気概が必要ではないかと思えます。日本リーダーズ協会がそのようなリーダーの育成のためにますます発展されることを期待しています。